

【記者からの質問】

朝日新聞／県内に外国人材ドライバーはいないのか。

知事／いないと聞いている。

朝日新聞／外国人ドライバーを受け入れる上での課題は何だとお考えか。

知事／日本は外免切替の問題が簡単すぎると指摘されている。一方で、物流業界のドライバー不足が深刻なため、国は自動車運送業分野を特定技能に加えた。

しかし、自国での運転歴がどれぐらいで、それが日本でどう活かせるのか。そのあたりは、慎重になったほうがいいと思う。また、各会社が外国からドライバーを受け入れるのは簡単ではない。県は、海外からの人材受入れのネットワークを持っている。

自動車学校、国際交流協会、トラック協会と連携し、課題があれば対応していく。まずは、佐賀県と交流のあるタイから受け入れ、軌道に乗れば拡大したい。

サガテレビ／3点質問する。

まず、外国人材ドライバーは県内在住者ではなく、タイから呼ぶのか？

次に、SAGA パラスポ 2025 に追加した競技が、なぜこの3競技なのか。

最後に、吉野ヶ里遺跡の研究プロジェクトは、石棺墓がきっかけか。石棺墓への鳥取と岡山の評価は？

知事／県内在住の外国人1万1000人は、業種や技能に応じて佐賀県に来ている。その人たちをドライバーに採用するのは難しい。ドライバーを目的に来てもらうのが自然な形。

追加した競技は、競技団体側から声が上がった。ほかからも希望が出れば追加していく。SAGA パラスポ 2025 は、新しい大会で、ルール化も手探りの状態。近県からの参加が多いかもしれない。実績を積んで、いい大会にしたい。

石棺墓の発表を全国に発信し、関心を集めた結果だと思う。他県と連携することで、吉野ヶ里遺跡がさらにクローズアップされる。

日本経済新聞／外国人材ドライバー受入れのための事業費500万円は、意外に少ない。何らかの一部金なのか。

知事／500万円のうち、約390万円が人材紹介会社に委託する予算。それに、広報資料として150万円。3名に対する事業なので、この額になった。

日本経済新聞／滞在費は、誰が出すのか。

県職員／県内企業を選定中。

西日本新聞／外国人材ドライバーの「切替えを丁寧に教える」とあった。方法は？
知事／連携の中に自動車学校が入っているので、免許切替え前の運転講習を丁寧に指導してもらおう。そして日本の免許への切替え、そのあと中型免許を取ってもらおう。

読売新聞／外国人材ドライバーは、県が採用して受け入れ企業に任せる形なのか。最初から受入先企業に全部委託する形なのか。

県職員／人材紹介会社に委託し、実際に雇用するのは県内企業。

読売新聞／それを県がサポートするのか。

県職員／人材紹介会社に委託する分が県の予算。雇用するのは企業。

知事／外国人材を雇用する気持ちがあっても、ノウハウがない企業も多い。そこを人材紹介会社に委託し、企業とつなぐ。あくまで主体は採用する会社。

読売新聞／上海・台北便の増便について。修学旅行先を上海や台北に、と期待しているのか。

知事／そういうこと。学校に対する支援で、アウトバウンドを増やしたい。

佐賀新聞／西九州大学の新学部設置への支援は、佐賀市に対して補助する建て付けか。

知事／県が佐賀市に1億円補助し、佐賀市から3億円補助する。

佐賀新聞／佐賀市を経由する理由は？

知事／武雄アジア大学も同様だった。地元支援の主体は、地元市町。その地域貢献に対して半分支援する。

佐賀新聞／佐賀市が2億円負担して県が1億円。1億円は妥当だとお考えか。

知事／各都道府県で判断は異なる。間接補助するなら、3分の1は少ないので半分。これまでも一般的な増設は2分の1で運用してきた。

佐賀新聞／県が私立大学を支援する意義をどのようにお考えか。

知事／佐賀県の課題は、18歳から28歳の人口が少ないこと。子ども比率は全国2位だが、大学入学時に県外に流出する。そこを充実させようとする私学や佐賀大学を積極的に支援する。

朝日新聞／SAGA パラスポ 2025 は、継続的に環境を整えていくお考えか。

知事／「SAGA パラスポ 2025 実施競技拡大」と「身近な地域でのパラスポーツ活動を促進」は、別の予算。

前者は、ネクスト全障スポのような形。佐賀での毎年開催を目指し、今年まずやってみる。

後者は、スポーツ庁からの提案で、特別支援学校卒業後もパラスポーツに参画してもらえる

ようにする事業。この2つの事業がうまく連携していい形になる。

NHK／外国人ドライバーについて。モデル化支援に乗り出したきっかけは？

知事／人手不足は、各分野で起こっている。外国人材にどういう形で一緒に仕事をしてもらうかが課題だった。そこで、多文化共生プログラムと共に雇用サポートセンターをつくった。しかし、自動車運送業分野とは合致しない。この3人が成功したら、ほかの分野でも援用できる。

NHK／全国的には、バス事業分野で外国人を雇用する動きがある。そうなる可能性は？

知事／どちらの運転をするにも、一定の語学的なハードルはある。しかし、バス運転手となると、高い日本語力が求められる。今回の検証項目に含めておく。

佐賀新聞／外国人材ドライバーの事業で、参考にした自治体の取組があるのか。

知事／物流会社が、知らない国で人材を採用するのは、ハードルが高い。県には人材系の会社との付き合いがある。行政がいったん入り、民民ベースのところまで進めばいい。

県職員／ほかの自治体の事業で参考にしたものはない。